



悪に対して賛美と感謝で戦う 悪の舌 (ラション・ハラア)

2015.9.23

キリスト 父のことは vs 蛇の舌
"ハレルヤ! アーメン!" vs ラション・ハラア
♪ 賛美、感謝... 偽り、欺き、悪口、...

舌 悪
ラション・ハラアとどう戦うのか?
アーメン、ハレルヤ。

来世の35歳 (主の家)

- Ps 34:13-14 悪舌、欺唇 - 15-17 主の目、耳、顔
- 父の家に来る - 13:18: 神殿とささげ祈り
- 8:28 御顔を向け、仰いで、29目を向け、52日、仰
- 神の箱の前で (神のことは、主の御座の前で) 戦え。1歴16: ←14:17 全地平和
"主に感謝せよ。主はまことにいつしみ深い。その恵みほとこしえど"
(ハレルヤ!) (アーメン!)
- 大祭司の祝福 (幕屋の日) 民6: 御顔を榮光! シャハバフ・グローリー
- ヨナババがモアブ、ペモンと戦う時 2歴20: 祈り-ソロモンの祈り
戦歌 "主に感謝せよ。その恵みほとこしえど"
- Rev 19:1-10 主は王である "アーメン、ハレルヤ"
新しい創造 (アーメンx6 / ハレルヤx7)

主の祈り
御名、御国、御旨 - ハレルヤ!
パン、罪赦、悪口 - アーメン!
民が救われる

ラション・ハラア、悪の舌、蛇の舌、偽り、欺きのくちびるに気をつけると、このラション・ハラアと戦うということを見てきました。父の家で蛇が来ますからこの蛇と戦うと言っていました。

その戦い方は、子らは口を制する、ただ何も言わないでもいいのか。「見ざる」「聞かざる」「言わざる」のように、何も見ない、何も聞かない、何も言わないことに知恵があるのかということかというかというかそうではない。

じゃあ、何を言えばいいのか。みことばをそのまま言うとか、神様の言われたことをただ繰り返して言うというよりも、応答としてハレルヤとアーメン、賛美と感謝。これが、このサタンに対する戦い方。ハレルヤ、アーメンというのが戦いの歌ということです。それを全体としてもう一度確認して見ていきましょう。



来なさい。35才。(主の家に)

Ps 34:13-14 舌舌欺唇。- 15-17 主の目、耳、顔。

父の家に来る - 13:18: 神殿ごさげ祈り。

8:28 神顔に向けて。聞いて。29 目と聞いて。52 目、顔。

34編 (11節) が「来なさい。子たちよ。私に聞きなさい。主を恐れることを教えよう。」「いのち、そして善悪の知識の木の実、これを食べることができる人は誰ですか。」というような質問でした。

そこにラション・ハラアが出てきます。その教えは、悪を離れて善を行って、平和を求める者たちに、神様は、天の父はどうするかということ、主の目は義しい者に向き、その耳は彼らの叫びに傾けられる。主の御顔は悪をなす者からそむけられ、彼らの記憶を地から消される。彼らが叫ぶと主は聞いてくれる。そして、彼らをそのすべての苦しみから救い出されますということです。主の目と耳と顔。その顔を神様がこちらに向けてくれるのが父の家だよということです。



来なさい。35才。(主の家に)

Ps 34:13-14 舌舌欺唇。- 15-17 主の目、耳、顔。

父の家に来る - 13:18: 神殿ごさげ祈り。

8:28 神顔に向けて。聞いて。29 目と聞いて。52 目、顔。

父の家に来るテーマがいろいろな箇所にありますけれど、ソロモンの神殿、まさに神様の家ですね。ダビデが求めた神様の家。その神様の家が建てられた時に、第一列王記 8章のところでソロモンが祈ります。

父ダビデに約束してくださった、その約束の通りにこの家が作られました。しかし、そこに神様自身が住むはずはありません。28節「けれども、あなたのしもべの祈りと願いに御顔を向けてください。私の神、主よ、あなたのしもべが、きょう、御前にささげる叫びと祈りを聞いてください。」御顔を向けて聞いてくださいと頼んでいます。夜も昼も目を開いて、しもべがこのところに向かって捧げる祈りを聞いてください。その祈りを天で聞いてお許しくださいと捧げる祈りが始まります。

このような罪を犯して悔い改めるなら、天でこれを聞いて赦してしてくださいと7度繰り返されます。7度繰り返されて最後の52節のところで、「どうか、あなたのしもべの願いと、あなたの民イスラエルの願いとに、御目を開き、彼らがあなたに叫び求めるとき、いつも彼らの願いを聞き入れてください。」ということで終わるところです。

顔を向ける、目で見てさばいて祈りを聞いてくれるということが、この神殿、神様の家を建てた目的そのものみたいなものです。



来世35歳。(主の家に)

- ・ Ps 34:13-14 啓舌 欺唇 - 15-17 主の目 耳 顔.
- ・ '父の家に来る - 1318: 神様とさむけり祈り.
- 8:28 神様を向けて. 俯いて: 29 目と向いて: 52 目. 肉.
- ・ 神の箱の前で(神のことば: 主の御座の前で)歌え. 1歴16: ←14:17 全地の平和
- "主に感謝せよ. 主はまことにいつくしみ深い. その恵みはとこしえまで"
- (ハレルヤ!) (アーメン!)

その前の段階でダビデの幕屋を建てるところ、幕屋の中心である神様の御座の箱。第一歴代誌13章6節にあります。契約の箱は「ケルビムに座しておられる主。」と呼ばれていた神の箱、神様の座、神様のことばの箱の前で歌いなさいというのがダビデが箱をもう一度戻してイスラエルの礼拝を形作るところです。

それは14章で見るとわかるように、ダビデがすべての敵との戦いを終えてダビデの名が全地の上に高くなった。17節「ダビデの名声はあまねく全地に及んだ。主はすべての国々に、彼に対する恐れを起こされた。」その全地の平和がダビデによって来ましたと言ったら、神の箱を安置するというシャロームの段階です。戦いが終わって平和が宣言される場所。

その箱を集めた時に、レビ人たちを集めて楽器を使って賛美をするように命じる。その命令して歌っているところが16章になります。「主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。」もう少し短く言うと、「まことに主の恵みはとこしえまで。」が41節にあります。「その恵みはとこしえまで」という繰り返しある136編のその元です。「主に感謝せよ。」というところが主をほめ讃えよということと同じことになります。「主はまことにいつくしみ深い。」主は良い方、その恵みはとこしえまで、ということですので、これを短く言えば「ハレルヤ」主をほめたたえる方と、その理由、真実を成してくださったという「アーメン」。ハレルヤ、アーメンという歌を神の箱の前で歌うようにダビデが命じるということなのです。

主の祈り
御名. 御国. 御旨 - ハレルヤ!
パン. 罪赦. 恵守 - アーメン!

・ 大祭司の祝福(幕屋の日)民6: 御顔の栄光! シャハツ・プロ-
・ ヨハバツがモEPZ・Pモンと華の時 2歴20: 祈り-ソロモンの祈り.
華歌 "主に感謝せよ. その恵みはとこしえまで"
・ Rev 19:1-10 主は王なる "アーメン. ハレルヤ"

御顔を向けてくださいと言った時に、御顔の栄光を思い出しますよね。モーセも顔が光っていた。神様の栄光を照らしていた。その最初のところという感じなのです。大祭司の祝福、幕屋を建てる日に、まず最初に民数記6章で大祭司は民をこのように祝福しなさいと言った箇所があります。礼拝の最後にいつも言われたりするところです。民数記6章の大祭司の祝詞で、御顔を照らしてくださいということが2度言われています。(24節~26節)「主があなたを祝福し、あなたを守られますように。主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。主が御顔をあなたに向け、あなたに平安をあたられますように。」御顔を照らして恵みと平安があなたがたと共に、というのが大祭司の祝福です。

この今見たところ全部そうですけれども、幕屋、主の家、神殿。ここで顔をこちらに向けているというのは、シャハイナ・グローリーという幕屋してくださる栄光、主が共にいてくださる栄光を見ているということになります。

主の祈り
 御名、御国、御旨 - ハレルヤ!
 パン、罪赦、恵守 - アーメン!
 主は王と召され。

・ 大祭司の祝福 (幕屋のD) 民6: 御蔭の栄光! シャハイナ・グローリー
 ・ ヨシャパテがモアブ・アモンと戦った時 2歴20: 祈り-ソロモンの祈り、
 戦歌「主に感謝せよ、その恵みはとこしえに」
 ・ Rev 19:1-10 主は王と召され「ア-メン、ハレルヤ」

このハレルヤ、アーメンは戦いが終わったあとに言うものということも言えますけれども、戦っている時にも歌っているとも言えます。将来戦う時にその歌を歌いながら戦っているという例としては、第二歴代誌20章で、ヨシャパテがモアブ、アモンと戦っている時に、ソロモンの祈りを引用して神様に頼むと、このように歌って戦えと言われて「主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。」と歌うと、敵は倒れましたということです。

第二歴代誌20章21節、22節「…武装した者の前に行って…主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。…彼らが喜びの声、賛美の声を上げ始めたとき、…彼らは打ち負かされた。」これは、戦う歌、神様の国が来る、王様万歳ということです。ハレルヤ、王様万歳と言って大勝利を治める。その最後の歌、新しい歌ということが言えるものだと思います。

主の祈り
 御名、御国、御旨 - ハレルヤ!
 パン、罪赦、恵守 - アーメン!
 主は王と召され。

・ 大祭司の祝福 (幕屋のD) 民6: 御蔭の栄光! シャハイナ・グローリー
 ・ ヨシャパテがモアブ・アモンと戦った時 2歴20: 祈り-ソロモンの祈り、
 戦歌「主に感謝せよ、その恵みはとこしえに」
 ・ Rev 19:1-10 主は王と召され「ア-メン、ハレルヤ」

アーメン、ハレルヤが2つ両方出てきて歌詞になっているところは、黙示録19章です。主は王となった。それで、アーメン、ハレルヤというそのままの歌詞が出てきます。

新しい創造と書いてありますがけれども、創造の時は善と悪を裁くように、裁きが6日間行われて、7日目に祝福された。アーメンが6回あって、7回目にハレルヤと言っているように見ることもできると思います。

主の祈り
御名、御国、御旨 - ハレルヤ!
パン、罪赦、悪守 - アーメン!

- ・ 大祭司の祝福 (幕屋の口) 民6: 御顔の栄光! シヤハレフ・ブローリ-
- ・ ヨハバフがモアア・アモンと戦約時 2歴20: 祈り-ソロモンの祈り、
戦歌「主に感謝せよ、その恵みはとこしえに」
- ・ Rev 19:1-10 主は王である「ア-メン、ハレルヤ」

主の祈りも前半と後半。主の祈りが求めているところもハレルヤとアーメン（と言えます）。御名があがめられる、御名が聖とされる、御国が来る、御心が行われる。これは、主は王となった、主が王となってくださるように、天の父が王であるということ、王を与えてくださったということに賛美するハレルヤ。そして命のパンが与えられ、罪が赦され、悪から守られる、これは民が救われ、神様の民が子供とされた、子供たちが神様の元に集められた…こちらがアーメン。民が救われたこちら（後半）は恵みがなされたほうです。このように主の祈りもハレルヤ、アーメンという構成になっているということだと思しますので、このラション・ハラアが強調される意味はすごくよくわかります。

	<small>キリスト</small> 父のことは	vs	<small>ヤサン</small> 蛇の舌
ハレルヤ! アーメン! 月 賛美、感謝...	vs	ラション・ハラア 偽り、欺き、悪口...	

2015.9.23

舌 悪
ラション・ハラアとどう戦うのか?
ア-メン、ハレルヤ.

戦いの後ろにサタンがいる。そのサタンと戦うのは感謝と賛美だということが、このハレルヤ、アーメン、ラション・ハラアの戦いだということからわかると思います。